

## 令和4年度 第2回名取市社会教育委員の会議概要記録

○日時	令和4年7月22日（金）午後2時より
○場所	市役所議会棟3階 第1委員会室
○出席者（8名）	大野 英子委員、和栗 幸一委員、須永 力委員、本郷 一浩委員、阿部 文男委員、齋藤 勇介委員、松田 道雄委員、高橋 真佐子委員
○欠席者（2名）	玉野井ゆかり委員、太田 裕子委員
○事務局出席者	教育長 瀧澤 信雄 教育部長 菊池 博幸 生涯学習課 課長 佐藤 徹也 課長補佐兼公民館係長 佐藤 浩
○傍聴人	なし

### 会議概要

1 開 会 進行：佐藤課長

2 あいさつ

#### 瀧澤教育長

ご承知とは思いますが、コロナの感染拡大が宮城県で2,205人、名取市でも129人と過去最多ということである。学校も夏休みに入っており、引き続き感染予防対策等に取り組んでいくところである。第1回目の5月27日の会議を行ってから3回ほど名取市で大雨、土砂災害警戒情報による避難所開設を行っている。幸い、名取では人的被害はなかったが、ところによってはかなりの雨が降る予報になっていたのが心配したが、大丈夫ようである。今日は公民館の事業評価を中心に委員の皆様からご指導いただきたい。公民館活動は、今年度地区民体育大会は残念ながらすべての公民館でコロナの影響で見合わせる方針となっている。これ以降に行われる球技大会、公民館まつり、新春祝賀会等については多くの公民館で実施に向け準備をしているところである。今年度は公民館事業の一つとして、広域連携、中学校区単位の事業もそれぞれの公民館で取り組んでいる。昨年度はみどり台中学校区だけの取り組みであったが、今年度は閉上も含めて5つの中学校区で広域連携の事業を計画している。今日は公民館の事業の話題が中心となるが、委員の皆様には専門的な立場からご指導ご助言をいただければと思う。本日は、社会教育委員の会議後に引き続き生涯学習推進協議会も開催するので、併せてよろしくお願ひしたい。

#### 高橋議長

市役所の会議室を用意いただき感謝する。夏休みに入ったが、コロナの影響で早速ラジオ体操も中止になり、地域の学年の縦割りの交流があることはとてもいい事なのだが、出来なくなってしまい残念である。今日は皆様の忌憚のないご意見をお願いしたい。

### 会議成立の確認

名取市社会教育委員会議規則第5条第1項により、委員過半数の出席を確認し会議成立を宣言した。

### 会議公開の確認

名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条の規定により、公開の対象となる旨を告げる。

傍聴席を設けていたが、本日の傍聴者はなし。非公開の議事は予定していないが、非開示情報が含まれる内容となった場合、会議に諮り決定していくことを告げた。

### 会議資料の確認

次第、資料1 公民館事業評価の見直しについて

## 3 議 事

名取市社会教育委員会議規則第3条第2項により、高橋議長が議長となり議事進行。

### (1) 協議事項

#### 令和3年度及び令和4年度公民館事業評価について

資料1により柳館主査から説明。

### 高橋議長

公民館の事業評価についてのご意見、ご質問をいただきたい。

### 阿部委員

質問であるが、9ページの愛島公民館の「地域ふれ愛防災講座」の評価について、「今後は自主防災組織連絡協議会が主体になるようその支援を務めていくと次の段階にと入れた」とあるが、次の段階の支援とはどのような内容なのか。

### 佐藤課長補佐

公民館としては、地域の団体と一緒に講座等やっていければよいと聞いていたが、主体になるような支援を進めていくということは今の時点では資料を持ち合わせていない。まず一つの取組みを行ったことへの評価である。

### 阿部委員

今回初めて行った事業で、たった1回やって区切りがついたというのは違うのではないかと思う。今現在、自主防災連絡協議会の予算は持っていない。ゼロの状態ではどのような活動ができるのか、そうしたときに公民館の支援等を含めてやっていかないと、各地区の自主防災関係の防災講座は開かれないのではないか。今現在、名取市において、11地区のうち4地区しか連絡協議会がなされていない。残りの7地区は全体的な会議までに至っていない状態。これは意見になるが、公民館の方で判断した方が早いのではないか。

### 瀧澤教育長

貴重なご意見感謝する。事務局でも現状を把握しておらず大変申し訳なく思う。公民館で

令和4年度第2回名取市社会教育委員の会議 令和4年7月22日（金）

行う講座の中で、地域の中で継続していけるという判断をすれば、ある程度公民館から離れてというのはあることだが、まだ1年だけで体力がないのではないかという意見については、愛島公民館ともよく話をし、来年度以降の公民館との関わりについて、再度検討していきたい。

#### 阿部委員

引き続き、継続という意味も含めてやっていただければと思う。

#### 高橋議長

ほかにいかがか。

#### 本郷委員

11ページのゆりが丘の受講生登録数と、受講延人数の数字が全く同じであり、評価のAとはどういうことなのか。

#### 佐藤補佐

誤記のようなので、確認のうえ訂正させていただきたい。

【追記：受講延人数の欄は、登録数を記載しておりました、訂正してお詫びいたします。】

#### 阿部委員

防災講座について、継続してできないものか考えていく必要があるのではないかと。将来的に公民館は自分の地域に合ったような防災講座を年1回でも行う義務を負っているのではないかと思う。ご検討いただきたい。11地区のうち8地区はどういう形であれ、何かしらの講座をやっている。

#### 佐藤補佐

指摘いただいた3公民館では講座としての実態はないという状況であるが、公民館館長会議の場で啓発をしていきたい。また、防災担当課にも話をし比較できないかなど考えてみたい。

#### 齋藤委員

防災講座の重要性というのはその通りだと感じている。相互台公民館の方には載っていないが、広域連携という形で、みどり台中学校区の方で地域防災講座を公民館連携で行っていて、これからこういった形で拡充されていくと思う。そちらも含めて地域の中で幅広く連携しながら網羅できるのではないかと思う。

#### 高橋議長

公民館長会議では公民館同士の講座内容の確認を行っているのか。

#### 佐藤補佐

講座の項目については、館長会議と職員会議で各々共有している。今回の事業評価を提出するにあたり、館長会議を開き資料を検討した経緯がある。なお一層、情報共有を図って参りたい。

#### 和栗委員

公民館主催であっても、訓練内容によっては料金がかかる場合がある。段ボールベッドの話をしたら一つが結構高い。公民館としてはどのくらいまでの予算を出せるのか。

#### 佐藤補佐

予算については、講座の講師謝礼などで予算付けしているが、自由になるお金がないとい

令和4年度第2回名取市社会教育委員の会議 令和4年7月22日(金)

うのが実態としてあると思う。段ボールベッドは確かに高く、防災安全課でやる場合は企業にお願いして無償でやってもらう場合がある。名取が丘で段ボールベッドができるかどうかは資料を持ち合わせていない。

高橋議長

総括シートでは予算までは見えてこないで進められないが、事務局の方でそのようなご意見があったということで入れていただければと思う。

ほかに公民館事業評価の見直しについていかがか。

松田委員

PDCA サイクルからすると非常にすばらしい取り組みで事業評価自体もわかりやすく、改善しようとするのは大変すばらしいと思う。質問だが、公民館職員の方々が次年度以降どのようにしていくのか。各公民館が地域性に応じたすばらしい取り組みをしているので、公民館職員同士の研修会などでこれを活用していつてもらえればと思う。常に見直しをされて改善していくこと自体が素晴らしいと感じた。

齋藤委員

教室・講座の評価を見ると、それぞれの公民館で企画を工夫してやっているが、企画を立てるうえで、大分類が申し合わせで決まっているのであれば、ここに記載されてあると公民館講座としてはやらない。しかしながら、地域と連携して講座をやったとき、公民館講座でやりませんでしたと市内全域で同じ視点をもって講座を行っているかというのが記載されるとわかりやすいと思う。地域と連携してやれているかどうかもわかりやすいと思う。そういったベースがあるかどうか踏まえてお聞きしたい。

佐藤補佐

現時点では、申し合わせなど統一したものは持っていない。各々の講座は1月には終了するので、それをもとに反省会を開いて公民館主事と館長が話し合いをしながらこういった講座を取りあげていこうという形でできてきたところがある。今回いただいた意見については、勉強しながらより改善していきたい。

阿部委員

取組の評価としてはすばらしい内容だと思う。意見として、評価対象として参加した方、職員も含めて伝える活動をどのように行ってきたのかということと、参加した方がその講座内容を広める活動にどのように展開したのかも含めて追及していけば内容的によいのではないかと。足りないのは伝えることと広めるということで、そこから輪を広げて地域の交流に一役を買うという担い手を養っていくという役目もあるので、そういう流れになればいいと思う。

本郷委員

公民館長の情報交換しながら事業をするのはいいが、これが画一性にならないか。これまでの公民館長は地域から選任されてきた。地域をわかっている人が館長になって、それぞれの公民館の地域性のある事業を取り組んできたのではないと思う。館長が事務職になり、このことによって公民館事業がどういう風に変ったのか、変わらないものなのか、教育委員会として検証が必要ではないか。話を聞いていると、地域性がなくなってきて、各公民館が画一的になってきているように感じる。

令和4年度第2回名取市社会教育委員の会議 令和4年7月22日(金)

瀧澤教育長

今の本郷委員のご意見は大事なことである。地域性や独自性というところは大事にしていきたいと教育委員会でも思っている。ご意見を伺っている中で、防災に関することや子育てといった大きな括りで、例えば、名取市としては公民館でこういった講座をやってほしいという重点的な方針などを決めるというやり方はあってもよいのかなと思う。それが公民館の独自性をなくしてしまうような方針では、公民館自身が地域の声を聞いたり、これまでの取り組みの中で考えて取り組んでいくことも必要だと思うので、その辺のバランスについて内部でも公民館の意見を聞きながら検討していきたい。

須永委員

コロナの中でよくぞこれだけの事業をやっていただけたと思う。公民館の方たちに感謝したい。評価については、自己評価をみているとAやBが多いが、先ほどのお話を聞いたときに、最終的にCやDという評価になったとしても、挑戦していくような事業展開をしてくれたら楽しくなると思う。評価を恐れず、挑戦なきところに進歩無しみたいな、公民館の方たちが頑張っているの、さらにこれからも応援していきたいと思う。

高橋議長

このことについてはよろしいか。

その他としていかがか。

佐藤補佐

先ほど松田先生からPDC Aのお話が合ったのですが、館長の方からも1月に固めて新年度に反映させたいということをおっしゃられた。2月になったら第3回の社会教育委員の会議を開く段取りを取らせていただきたいと思いますと考えている。

高橋議長

それでは予定していた議事については以上で終了とする。(議事一切を終了。高橋議長、降壇。)

佐藤課長

以上をもって、令和4年度第2回名取市社会教育委員の会議の一切を終了する。

5 閉 会

15:00 終了

以上